

世界電気通信標準化総会(WTSA-12)の 概要について

平成24年4月23日

電気通信システム委員会事務局

世界電気通信標準化総会 (WTSA) の概要

世界電気通信標準化総会 (WTSA: World Telecommunication Standardization Assembly)

- ITUでネットワーク分野の標準化を行う電気通信標準化部門 (ITU-T) の総会であり、4年に1回開催。
- 前回総会 (WTSA-08) は2008年10月21日 (火) ~ 30日 (木) の10日間、ヨハネスブルグ (南アフリカ共和国) にて開催され、全体で約770名、日本から38名が参加
- 次回総会 (WTSA-12) は2012年11月20日 (火) ~ 29日 (木) の10日間、ドバイ世界貿易センター (UAE) にて開催。11月19日 (月) には、グローバル・スタンダード・シンポジウム (GSS) が開催。

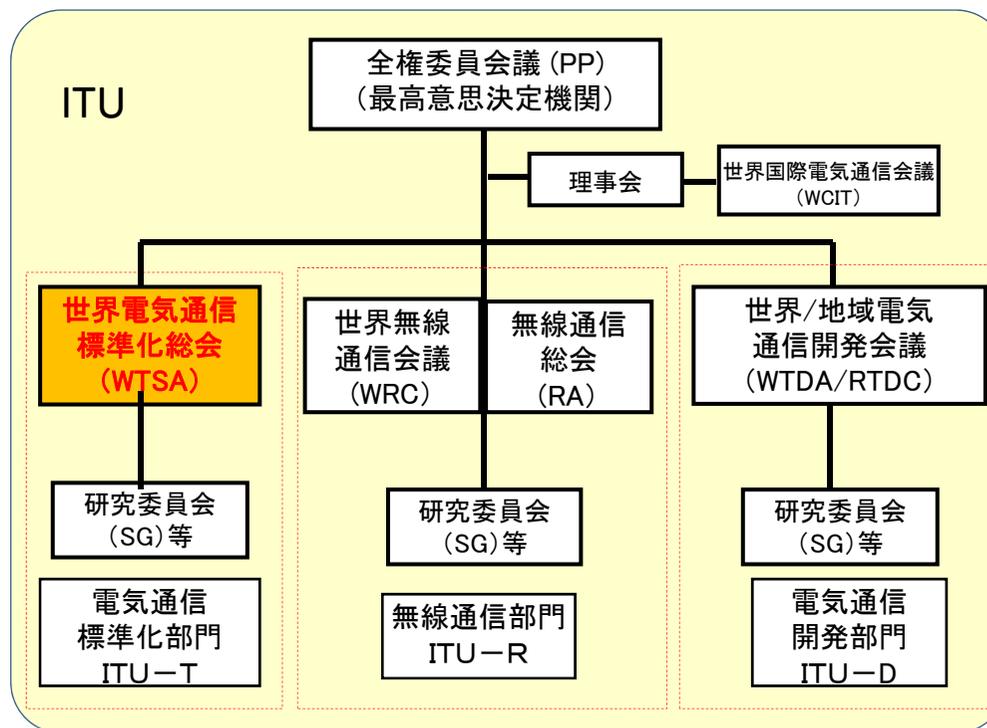
WTSA-12における主な議題

- 研究委員会 (SG) から提出された勧告案の承認
- 決議案の承認
- 次会期 (2013-2016) の研究課題の承認
- 次会期における研究体制の決定 (SG構成の見直し)
- 各SG議長・副議長の任命*

※ WTSA-12では、議長職11名のうち、3名 (SG2、SG3、SG15) が任期満了 (2期8年) により、退任予定。

WTSA-12に向けた我が国の主な対応

- 勧告案及び次会期の研究課題等への対応については、情通信電気通信システム委員会で審議の上、ITU部会から一部答申を頂く。
- SG議長・副議長ポストの確保を目指す。
 - ✓ 内藤氏 (SG16議長) 他 の再任
 - ✓ 津川氏 (SG3議長候補) 他 の新規任命



WTSA-12において議論される可能性のある主な検討事項

WTSA-12における議論は、今後のSGの検討の動向によって変わりうるが、現時点で可能性のある主な検討事項は、以下のとおり。

- **MPLS-TP*に関する新勧告案** *MPLS-TP: 既存のデジタル伝送網に利用可能なパケット伝送技術MPLSの保守運用性を向上した技術
 - ✓ ネットワークの保守運用機能(OAM)を提供するプロトコルとして、Ethernet OAMをベースとするITU-T方式とMPLS OAMをベースとするIETF(Internet Engineering Task Force)方式の2案があり、日中韓や欧州の多くはITU-T方式を支持しているが、両論併記によるIETF方式も受入可能。一方、英米等はIETF方式のみを支持し、ITU-T方式に反対したため、SG15では勧告化ができなかった。
 - ✓ そのため、ITU-T方式の勧告をWTSA-12に提出し、勧告化について審議されることになった。
 - ✓ ITU-T方式の勧告が実効性を持つには、IETFのレビューの下、IANA(Internet Assigned Number Authority)によるコードポイントの割り当てが必要であるが、IANAが対応しない場合には、WTSA-12において、コードポイントを規定する決議を策定することになる可能性がある。

- **フォーカスグループに関する勧告の改訂案**
 - ✓ ITU-Tでは、新たな標準化課題に対し、勧告A.7に基づき、ITUのメンバーだけでなく誰もが参加できるフォーカスグループ(FG)を設置し、ITU以外で行われている標準化活動に関する情報収集や基礎的な調査を集中的に行っている。勧告A.7において、FG活動にITU予算を利用可能にする改訂が行われる可能性がある。

- **インターネットの技術的支援に関する決議への対応**
 - ✓ 2010年ITU全権委員会議の決議178を受け、先進的ネットワークの展開、收容能力、継続性、相互運用性、セキュリティを支援するために、インターネットを支える通信ネットワークの技術的側面からの検討について、新SGの設立も含め、対応が議論される予定である。

- **ICTと気候変動に関する決議の見直し**
 - ✓ 前回のWTSA-08において、ICTの利活用による気候変動への対応やICTから排出される温室効果ガスの削減を目指した決議73が策定されたが、今回のWTSA-12において、その後の各国の取組みを反映した改訂が行われる可能性がある。

- **途上国の標準化活動の促進に関する決議の見直し**
 - ✓ WTSA-12に向けたAPT準備会合では、決議44(先進国と途上国の間の標準化格差の縮小)、決議59(途上国からの電気通信事業者の参加の促進)等の決議の見直しが検討されており、その結果がWTSA-12に提出される可能性がある。

- **SG再編**
 - ✓ 前回WTSAで議論されたSG9(統合型広帯域ケーブル網)とSG16(マルチメディア・アプリケーション)、SG11(信号要求、プロトコル及び試験仕様)とSG13(移動及びNGNを含む将来網)の統合等が、再び議論される可能性がある。

WTSA-08の主な議題

- SG再編
 - ✓ 最新の技術動向を考慮し、前会期(2004～2008)の13SG+TSAGから10SG+TSAGに再編。FMC(Fixed Mobile Convergence: 固定網と移動網の融合)の進展に対応すべく、網構成(ネットワークとアーキテクチャ)の共通化に伴い、SG19(移動通信ネットワーク)がSG13(次世代網)に統合された。
 - ✓ 我が国から立候補した、SG議長2名、副議長7名の候補者がそれぞれ選出された(議長は、SG15及びSG16)。
- ネットワーク外部性に関する勧告案
 - ✓ ネットワーク外部性に基づくプレミアム(ネットワークが十分に備わっている先進国等から途上国への接続料に関して途上国側に料金の上乗せを認めるもの)に関する勧告案については、プレミアムの設定方法に関し更なる検討が必要であるとの我が国、米国及び欧州諸国の反対意見にも関わらず、勧告の採択が行われた。我が国に対し同勧告の適用が行われないう、留保を行った
- ICT利用による気候変動対策に関する決議
 - ✓ ICT利用による気候変動対策について、我が国提案を含む各国の提案が審議され、現在行われているFG(フォーカス・グループ)での検討が終了した後にTSAGにおいてITU-Tにおける今後の検討体制を決定すること及びITU-Tメンバー以外の専門家の意見を取り入れる仕組みを作ることを含む決議が採択された。